

ぺあせろべ 2025 子ども広場を開催！

— 国際交流フェスティバル —

ぺあせろべ実行委員会主催の「ぺあせろべ 2025」が、10月5日（日）10:00～16:00に広島駅地下広場で開催されました。このイベントは、1984年に国際交流を図ろうという趣旨で始まりました。「ぺあせろべ」は、英語の「PEACE&LOVE」をスペイン語風に発音した造語で、「平和」と「愛」の大切さを考え、生きる喜びを実感できる祭典を目指し名づけられたものです。

広島ユネスコ協会は、この実行委員会に団体加盟をしており国際部会が担当し、「子どもの広場」を受け持っています。昨年までは国際部会員のみで取り組んでいましたが、今年度は青少年のボランティアを募り若い力をかりて取り組みました。8月10日に青少年ボランティア対象にバルーンアートと折り紙の講習を行い、10月5日の本番に臨みました。

青少年ボランティアの声には、「本日はとても楽しかったです。来てくれた方々が来たときよりもっと笑顔になって帰ってくれるのが嬉しかったです。次回もよろしくお願いします」



国際部会員 8名全員集合



青少年ボランティア

「お疲れさまでした。ありがとうございました。とても楽しかったです。いろいろなことを学びました。本当にありがとうございました」「本日はありがとうございました。初めての参加で緊張しましたが、楽しかったです」新入会員の声には、「今日はお疲れさまでした。子どもたちが笑顔で参加している姿を見ることができて、いい経験をさせてもらいました。ありがとうございました」

そして、青少年の皆さんが子どもたちに丁寧に、楽しそうに教えている姿もとても素敵でした。次回もよろしくお願いします」

子どもの広場への参加者だけでなく、私たち国際部会員同士や青少年との絆も深まり心が温まり、笑顔で終えることができたのは何よりもうれしいことです。



バルーンで刀、犬、花などをつくり、できたときは笑顔で「ピース」や楽しく遊ぶ姿が！



楽しく遊ぶ姿がかわいい！ 楽しそうに教えるボランティアに真剣につくる子どもたち！



折り紙コーナーでは、ピカチュウやトトロなどつくるのが結構難しいですが、集中して折り方を見ながら根気強く完成までこぎつけ、完成したときの笑顔は何とも言えない達成感でいっぱい！ 保護者も我が子の努力の成果にとびっきりの笑顔でした。教えたボランティアの青少年たちの笑顔も素敵でした。

（国際部会長 政木恵美子）